

# 働き方改革推進方針における各成果指標の状況

↗ 改善 ↘ 悪化

成果指標	R元	R2	R3	R4	R5	R6	状況
1. 時間外勤務月80時間超の 県立学校教師(教諭)の割合 (4月～3月の平均) ※システムによる把握	18.9%	15.9% ↗	16.8% ↘	18.1% ↘	16.3% ↗	—	時間外勤務月80時間超の 教師の割合は、やや減少傾向 ※システムがR元年9月導入のため、 R元は9月～3月の平均 ※R2は新型コロナウイルスによる学校の 一斉休業の影響で時間外勤務が少ない
2. 教師自身の学びの実践 (9項目の学びの実践の選択数)	3.67項目	3.13項目 ↘	3.42項目 ↗	3.54項目 ↗	3.51項目 ↘	3.48項目 ↘	令和2年度は、コロナ禍による 研修等の中止・延期等の影響により 全体の選択数が減少したが、 令和3年度以降は回復傾向
3. 教職員の働きがい (ワーク・エンゲイジメント) ※9項目(各0～6点)の合計点	28.83点	28.35点 ↘	28.64点 ↗	28.26点 ↘	27.66点 ↘	27.52点 ↘	日本(民間企業)の平均 (23.58点(※1))以上の 水準をキープしているが、 令和4年度以降はやや悪化傾向
4. 教職員の抑うつ傾向 (メンタルヘルス) ※6項目(各0～4点)の合計点	5.36点	5.57点 ↘	5.62点 ↘	5.79点 ↘	5.80点 ↘	5.89点 ↘	年々悪化傾向(※2) ※5点以上がリスク群、 10点以上がハイリスク群
5. 教職員の主観的幸福感 (ワーク・ライフ・バランス) ※10点満点	6.06点	6.06点 →	6.09点 ↗	6.05点 ↘	5.99点 ↘	5.97点 ↘	日本の平均(5.76点(※3))以上 の水準をキープ

- ※1:リクルートマネジメントソリューションズ(2019)「ワーク・エンゲイジメントに関する実態調査(N=624)」で平均値23.58点  
質問は、「仕事をしていると活力がみなぎるように感じる」等9項目について、どのくらいの頻度で感じているか、  
「0:全くない～6:いつも感じる」の7段階で問うもの
- ※2:質問は、過去1カ月のこころの状態(6項目)を「0:全くない～4:いつも」の5段階で問うもの
- ※3:内閣府(2022)「満足度・生活の質に関する調査報告書」で平均値5.76点  
質問は、直近1カ月の状況を「0:最高に不幸～10:最高に幸福」までの11段階で問うもの